

NEWS RELEASE

2026年2月12日

各位

関西空港交通株式会社
阪急観光バス株式会社
阪神バス株式会社
近鉄バス株式会社
奈良交通株式会社
三井住友カード株式会社
株式会社ジェーシービー
QUADRAC 株式会社
株式会社小田原機器
レシップ株式会社

関西国際空港、大阪（伊丹）空港の空港リムジンバスにて クレジットカード等のタッチ決済による乗車サービスを一斉導入！ ～2026年3月より空港アクセス含めた関西エリアでの移動がさらに便利に～

（一部路線・一部バス会社は未対応）

関西空港交通株式会社、阪急観光バス株式会社、阪神バス株式会社、近鉄バス株式会社、奈良交通株式会社、三井住友カード株式会社（以下「三井住友カード」）、株式会社ジェーシービー、QUADRAC 株式会社（以下「QUADRAC」）、株式会社小田原機器、レシップ株式会社は、2026年3月1日（日）より、関西国際空港および大阪（伊丹）空港の空港リムジンバスで、三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用したクレジットカード等^{（※1）}のタッチ決済乗車サービスを開始します。

なお、タッチ決済乗車サービスの関西国際空港および大阪（伊丹）空港の空港リムジンバスへの導入は本件が初めて^{（※2）}となり、5事業者で合計260台に導入します。

関西エリアでは、既に鉄道を中心にタッチ決済乗車サービスの導入が進んでいます。今回、空港アクセスを担うリムジンバスにも対応することで、関西エリアを訪れる訪日外国人旅行者や国内利用者は、現金の準備や切符購入の必要が無く、普段使い慣れているクレジットカード等で空港から関西エリアの都市部、さらにはその周辺の移動まで、より快適にご利用いただける環境が整います。これにより、関西エリア全体でのキャッシュレス化を更に推進し、地域の活性化に貢献してまいります。

（※1）タッチ決済対応のカード（クレジット、デビット、プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等

（※2）2026年2月 三井住友カード調べ



【背景】

観光庁によると、2025 年の訪日外国人旅行者は 4,268 万人となり、関西国際空港では 2,173 万人が利用しました。また、コロナ禍以降、ビジネスや旅行等を目的とした移動需要の高まりを背景に、関西国際空港と大阪（伊丹）空港を合わせた国内外の利用者数は 5,027 万人に達しています。（※3）

両空港を発着する空港リムジンバスにおいては、交通系 IC カード対応が進んでいるものの、依然として自動券売機で切符を購入するお客さまの混雑や、バス停での係員や乗務員による切符販売の負荷といった課題が残されている状況です。これらの課題に対応すべく、各社で公共交通機関向けソリューション「stera transit」を導入し、交通系 IC カードをお持ちでない訪日外国人旅行者や国内利用者の利便性向上を目指します。

（※3）出典：[訪日外客数（2025 年 12 月推計値）](#) | [報道発表](#) | JNTO（日本政府観光局）

[関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港 2025 年 12 月利用状況](#) | [新着情報](#) | [関西エアポート](#)

【概要】

■乗車方法

お手持ちのタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等を、バスに新たに設置する専用端末にタッチすることで、そのままご利用いただけます。



端末のイメージ(バスによって専用端末の位置は異なります)

■対象路線

- 関西国際空港発着
- 【大阪府内】大阪駅前線、大阪空港（伊丹空港）線、近鉄上本町線、南港・USJ 線、りんくうタウン線、スカイシャトル線
- 【兵庫県内】神戸線、西宮線、尼崎線
- 【奈良県内】奈良線

- 大阪（伊丹）空港発着
- 【大阪府内】大阪駅前線、新大阪線、なんば線、あべの橋線、上本町線、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン線、
 関西国際空港線
- 【兵庫県内】神戸三宮線、甲子園線
- 【京都府内】京都線
- 【奈良県内】奈良線

■開始時期

2026 年 3 月 1 日（日）

■決済ブランド

Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯

【各社役割】

関西空港交通株式会社 阪急観光バス株式会社 阪神バス株式会社 近鉄バス株式会社 奈良交通株式会社	バス運行、タッチ決済対応設備の整備、タッチ決済を活用した企画の実施
三井住友カード株式会社	キャッシュレス決済導入支援、stera プラットフォーム提供（stera transit） Visa、Mastercard、銀聯のタッチ決済に関するソリューション提供・認知プロモーション
株式会社ジェーシービー	キャッシュレス決済導入支援、JCB および American Express、Diners Club、 Discover のタッチ決済に関するソリューション提供・認知プロモーション
QUADRAC 株式会社	交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム「Q-move」の提供
株式会社小田原機器 レシップ株式会社	キャッシュレス決済システムおよび機器の提供・開発・メンテナンス

【会社概要】

- ・ 関西空港交通株式会社：本社 大阪府泉佐野市、取締役社長 河合 潤二
- ・ 阪急観光バス株式会社：本社 大阪市豊中市、代表取締役社長 寺西 保
- ・ 阪神バス株式会社：本社 兵庫県尼崎市、代表取締役社長 城島 和弘
- ・ 近鉄バス株式会社：本社 大阪府東大阪市、取締役社長 渡壁 伊智郎
- ・ 奈良交通株式会社：本社 奈良県奈良市、代表取締役社長：田中 耕造
- ・ 三井住友カード株式会社：本社 東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 CEO 大西 幸彦
- ・ 株式会社ジェーシービー：本社 東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長 二重 孝好
- ・ QUADRAC 株式会社：本社 東京都中央区、代表取締役社長 高田 昌幸
- ・ 株式会社小田原機器：本社 神奈川県小田原市、代表取締役社長 津川 直樹
- ・ レシップ株式会社：本社 岐阜県本巣市、代表取締役社長 北野 元昭

（参考）タッチ決済履歴確認方法

QUADRAC の「Q-move」サイト（URL：<https://q-move.info/>）にアクセスし、マイページの会員登録手続きが完了しますとタッチ決済履歴の確認が可能となります。



The first screenshot shows the Q-move login page with fields for email and password, and buttons for login, registration, and contact. The second screenshot shows the '乗車履歴確認' (Check Ride History) page where a user can select a date range and view their payment history. The third screenshot shows a detailed table of ride history for 2026/03/01.

2026/03/01	合計	1,800 円
1 関西空港交通		
1 関西空港第1ターミナル	6:50	
ハース大坂	8:00	

Q-move サイトご利用イメージ

以 上

【別紙】

■「stera transit」関西エリアにおける導入状況

三井住友カードは、2020 年 7 月より、クレジットカード等のタッチ決済に対応した公共交通機関向けソリューション「stera transit」の提供を開始し、移動における利便性の向上とキャッシュレス社会の実現に取り組んでまいりました。2026 年 1 月末時点では、全国 45 都道府県 200 を超える事業者が導入を公表しており、特に関西エリアでは 2024 年 10 月に鉄道事業者 4 社が一斉に導入しました。関西エリアは日本有数の移動需要を持っており、その交通決済がお手持ちのクレジットカード等の一枚で完結することは、利用者全体にとって大きな価値となります。なお、関西エリアのタッチ決済乗車は、現在タッチ決済乗車を導入している事業者をまたがる相互直通利用にも対応しており、交通系 IC カード同様にご利用いただけます。

(参考：<https://www.smbc-card.com/company/news/news0001956.pdf>)

2020 年	11 月：京都丹後鉄道
2021 年	4 月：南海電鉄 11 月：南海りんかんバス
2022 年	4 月：泉北高速鉄道 10 月：神姫バス
2023 年	4 月：奈良交通
2024 年	4 月：大阪モノレール・みなと観光バス・神戸市地下鉄・神戸新交通・神戸電鉄 10 月：Osaka Metro・近畿日本鉄道・阪急電鉄・阪神電気鉄道・神戸高速鉄道
2025 年	2 月：熊野御坊南海バス 3 月：北大阪急行電鉄・阪急バス・能勢電鉄 4 月：山陽電気鉄道・Osaka Metro（万博周遊バス） 11 月：大阪シティバス

■タッチ決済について

タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）または、カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要※で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進むなど、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。

※一定金額を超えるお支払いは、カードを挿入し暗証番号を入力するか、サインによる本人確認が必要となります。

(stera transit においては、当該運用は発生しません。)



■「stera transit」について

(URL：<https://www.smbc-card.com/kamei/stera/transit/index.jsp>)

stera
transit

決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMO ペイメントゲートウェイ・GMO フィナンシャルゲートおよび Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。

「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がなく消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」等、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。